

平成 2 6 年 度
(平成 2 6 年 7 月～平成 2 7 年 6 月)

事 業 計 画 書

一般財団法人 国際協力推進協会

事業の概要

最近の国際社会の状況を概観すると、従来の国際秩序の前提となってきたパワーバランスが変化し、国際的なリスクの多様化が一層顕著になったように見える。その背景の一つとして、中国を始めとするいわゆる新興国の台頭が挙げられている。また、情報通信ネットワークの進展、交通・物流の加速化などにより、国際社会を構成する諸国民の社会生活環境が急速に変化していることも国際情勢の動きに大きな影響を与えていると言えよう。世界各地に於ける貧困問題、大規模自然災害、人間の安全保障など国際的協力が取り組む課題は広範囲にわたっている。これらの諸問題が複雑に絡み合い、国際社会全体の統治構造において強力な指導力を発揮することがますます困難となり、また責任ある幅広いコンセンサスの形成に一層時間と労力がかかるようになっている。

このような状況の中で、当財団としては、刻々と変化する国内外の政治経済、外交、安全保障等の動向を的確に把握し、国際社会の相互理解を一層増進せんとする財団の目的の下、平成 26 年度に於いて以下の事業を実施することとする。

1. 国際協力に関する講演会事業

国際協力・外交・国際情勢等に関して、政府関係者、実務経験者、専門家等による講演会を開催し、国際協力の理解促進と啓発活動を公益目的支出計画の実施事業として実施する。

(1) 早朝講演会

毎月1回程度実施する。

(2) 国際協力懇話会

平成26年度において2回程度実施する。

2. 国際開発協力支援事業

(1) 太平洋島嶼国開発協力事業

太平洋島嶼国との信頼関係を構築し友好関係の一層の推進を図るため、平成26年度公益目的支出計画の実施事業として、① PIF 地域のディーゼル発電設備メンテナンス研修事業、②太平洋島嶼国首脳会議において支援が謳われている「ミクロネシア・チャレンジ」による海洋自然環境保護活動に対する協力の2件の事業を実施する。

(2) 日・カリブ友好協力事業

カリブ諸国の信頼関係を構築し友好関係の一層の推進を図るた

め、平成26年度公益目的支出計画の実施事業として車の整備技術のための研修事業を実施する。

3. ミクロネシア連邦ザビエル高校留学生奨学金事業

明治時代以来歴史的関係が深く、親日的で日本重視の外交政策を展開しているミクロネシア地域との友好関係を一層促進すると共に、同地域の発展のための人材育成を支援することとし、ミクロネシア連邦ザビエル高校からの留学生の日本での就学を上智大学と協力し、実施することとする。当面、一年に1名とし、平成26年度より開始する。

4. 受託事業

国際協力関係業務

外務省及び独立行政法人国際協力機構が実施する国際協力関係業務案件の受託を行う。

5. その他

当協会の運営基盤の強化を図るため新規会員の拡充に努める。

また、国際協力に関する情報をホームページ等を活用して提供及び広報を行う。